この世界の片隅に

ファンブック制作進行中!!!!!

漫画家や作家からの寄稿、
有名人・著名人のインタビューや対談、
そして、こうの史代先生を始めとする
関係者インタビュー等、
『この世界の片隅に』への愛が詰まった1冊!!

森繁拓真　宇仁田ゆみ　青木俊直
ゴトウユキコ　仙道ますみ＋紅林直　菅原敬太

次ページより！

**ファンブックに収録するものの中から、
本誌では先行してこちらの7名から頂いた
原稿をお届けします!!**

もりしげたくま
森繁拓真 | 「月刊コミックフラッパー」にて『となりの関くん』(①～⑩巻)連載中

ごく個人的な感想

森繁拓真

見事な絵と動きによって漫画以上に
たくさんの事が頭に入ってきました
戦時の一人の女性の生活を
体感する強烈な時間

しかも苦しさや悲しさに
涙するようには作られていない
観る人の感情を決めつけない
捉え方を自由にさせるという演出

繊細な技術でテンポを
コントロールして感情を
押し付けない
いいから いいから
泣かなくて いいから
片渕監督が誘導して
体感することに集中
僕の心の
片渕カントク

どっぷりと
時代の空気を
味わう事ができる
贅沢な時間
いいよー 泣かなくてもいいよー
しかし終盤
このシーン

パァァ
ここで
涙腺崩壊

監督が誘導して
くれていたのに何故⁉
ありゃー 泣いちゃったか
だばー
犯人は監督の
背後に隠れていた

こうの史代先生‼
失くした手が
招く縁があっても
いいかな〜って…
僕は改めて
こうの先生の「やさしいタッチ」に
泣かされてしまったのです
僕の心の
こうの先生

壮絶な時代が描かれている中
そこにあったのはいつも通りの
こうの作品の「やさしさ」でした
『この世界の片隅に』は
僕が考えていたよりずっと
いつものこうの先生の作品で
その手触りは
過去と現代をつなぐ糸となって
多くの人々が観ていくきっかけに
なるのかもしれません
作品に触れるという言葉をよく考える
一生モノの映画になりました
ぐたょ〜んて
ラストの呉の山々は
自分の涙でよく
見えないんです
よねー
オワリ

宇仁田ゆみ
『ねむりめ姫』『パラパラデイズ』他連載中。代表作は『うさぎドロップ』

だからこそ日常がむしばまれる描写は本当におそろしいいし

その後のすずさんたちが幸せであってほしいと心から思います

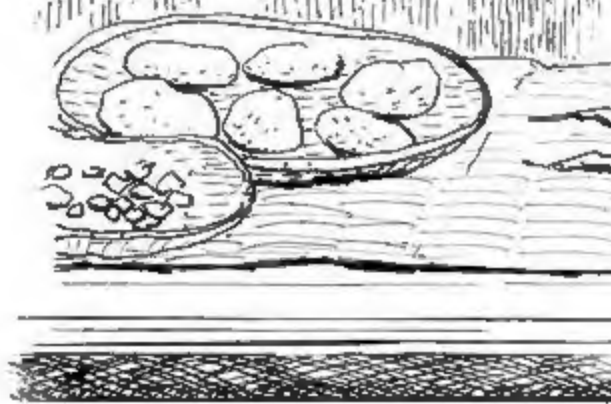
そして
周作さんはとっても
かっこいいですね
一貫して
すずさんの味方で
いてくれる…

見知らぬ土地で
(しかも距離感が現代と違う)
あまり知らない人たちと共に
暮らしていくのは

当時それが当たり前と
されていたとしても
あたたかい北條家だとしても
たやすいことではないはず…

ところで わたしが
こどもの頃育った
地域では
タンポポの花は
のっぽで
白かったので
白
お花の
まんなかだけ
うっすら黄色

テレビや絵本などに
でてくる
黄色いタンポポが
当時不思議で
仕方なかったです
?
?
たんぽぽ

絵で描く時の
暗黙のルールみたいな
ものかなーとか
真ん中の黄色い部分を
誇張しているのかなーとか
いろいろ考えていました
今
住んでいるところの
タンポポは
背が低くて黄色です
(どちらも三重県)
逆すずさん
ですよ

青木俊直（あおきとしなお） 「あま絵」でおなじみ。電子書籍コミックス「ふたりでおかわり」発売中

☆青木俊直先生の原稿はファンブックではカラーで収録予定です

ゴトウユキコ　代表作に『R-中学生』『ウシハル』
最新作は『きらめきのがおか』

「この世界の片隅に」を観て、
一番思ったことは、
すずさんが生きていてくれて
よかった。
一人気でかわいくて
キレイで色っぽいすずさん。
ちょっとぬけてるところもあるけど、
たくましくて強いすずさん。
劇場を出たあと、あなたにまたすぐ
会いたくなりました。

この世界の片隅に…私達は生きている

仙道(せんどう)ますみ

本誌にて『リベンジH』(①～⑤巻)連載中

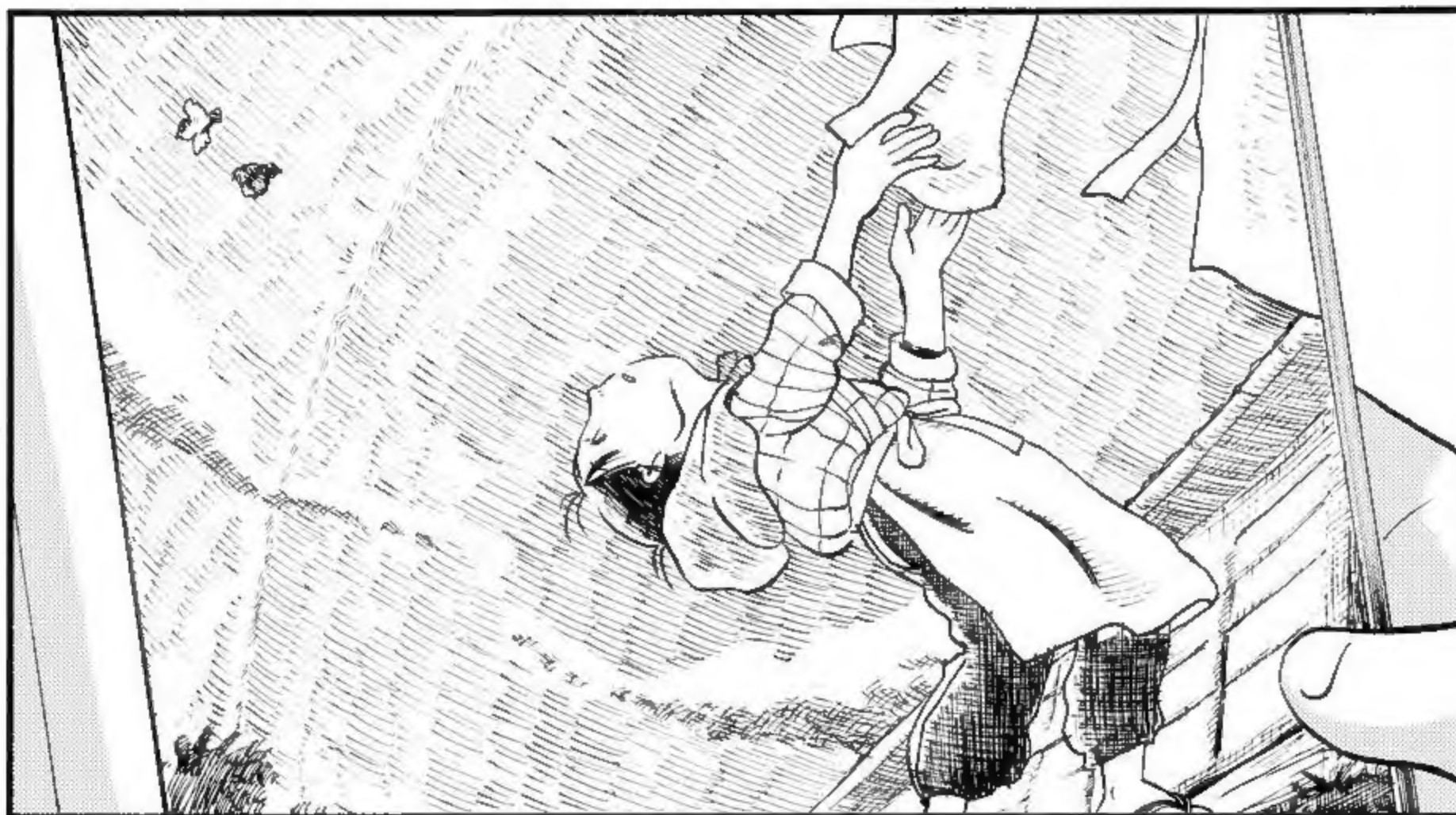
紅林直（くればやし なお）｜代表作は『嬢王』(全⑫巻)　原作：倉科遼

漫画でも映画でも
小説でも音楽でも

素晴らしい作品って
いうのは
観た翌日 気付くと
ボーッっと思い出し
てるものだと
常々思ってます

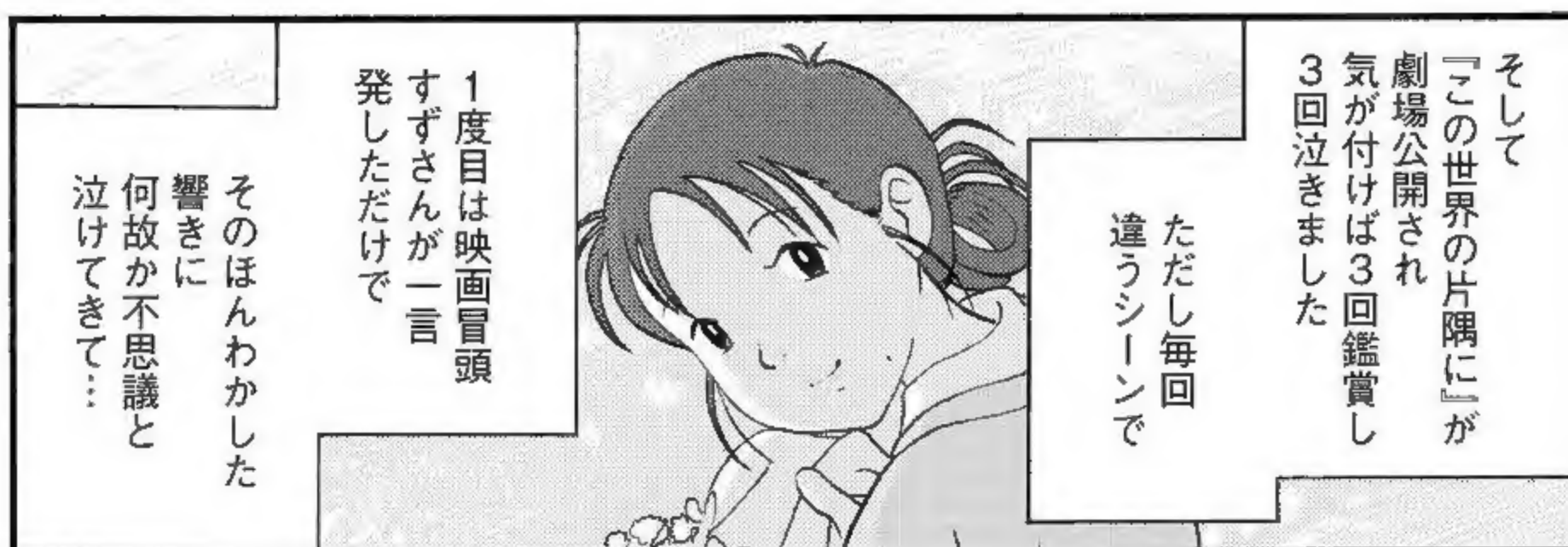
逆に駄作は
一ヵ月経っても
思い出さない事も
あります

思い返せば
漫画家を
目指していた
2008年

新人賞に応募
する為に手にした
漫画アクションを
何気なく開いた時
見た一コマ

何故か鮮烈に
頭に残りました

そして時々ボーッと
そのコマを思い出す
のです

前後の内容も
知らないのに

あの時から
この作品に
たった一コマで
心掴まれていた
ようです

人を魅きつける原作と人を魅きつける演出と人を魅きつける演技とが一つになる事でこんなにも凄まじいパワーが生まれるものなのか!!

その衝撃は時間をかけて僕の頭蓋骨の中を跳弾の様に駆け巡ってるんだ!!

だからその感動はいつまでも消えないんだ!!

なんて事を気が付けば散歩中ボーッと考えたりしております

ちなみに感動シーンが観るたび違っても

観終わって家に帰ると必ず

おとーちゃんおじさんくさい

晴美ちゃんによく似た髪型の娘をぎゅーっと抱きしめる事は毎回変わりません

豪華作家陣による特別寄稿は次号も掲載!!

開催決定!!!!

この世界の片隅に

こうの史代原画展

5.13(土)-5.30(火)

タワーレコード渋谷店 SpaceHACHIKAI

すずの日常から印象的な名シーンまで、
カラー&モノクロ原画を多数展示!
この会場でしか購入できない記念グッズも販売予定!
さらに、入場者特典として、
こうの史代先生描き下ろしイラストを使用した
オリジナルポストカードをプレゼント!
生の原画を味わえる数少ない機会ですので、お見逃しなく!!

こうの史代先生
描き下ろしの
すずが特典に!!

▼入場特典ポストカード

〜企画展情報〜
こうの史代「この世界の片隅に」原画展

【日程】
2017年5月13日(土)〜5月30日(火)
【会場】
会場:タワーレコード渋谷店8F SpaceHACHIKAI
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-22-14
【営業時間】
11:00〜21:00(最終入場20:30)
※最終日のみ18:00まで(最終入場17:30)

【入場料】
800円(税込)　※未就学児無料
【主催】こうの史代「この世界の片隅に」原画展実行委員会
【協力】タワーレコード渋谷店
【制作】マットエンタープライズ
詳しくはこちら→http://www.futabasha.co.jp/introduction/konosekai/

第13回文化庁メディア芸術祭優秀賞

こうの史代

この世界の片隅に

上・中・下巻発売中

戦時下の広島・呉を生きる、
すずの日常と奇蹟の物語

アクションコミックス 定価：各648円＋税 A5判

映画の感動を、より深く

関連本、大好評発売中!!

続々重版中!!

「この世界の片隅に」
劇場アニメ公式ガイドブック
原作：こうの史代　監督：片渕須直
B5判　定価：本体1,800円＋税

ノベライズ
「この世界の片隅に」
原作：こうの史代
ノベライズ：蒔田陽平
文庫判　定価：本体565円＋税

「この世界の片隅に」
劇場アニメ絵コンテ集
絵コンテ：片渕須直 浦谷千恵
原作：こうの史代
A5判　定価：本体3,500円＋税

旅写真集
のん、呉へ。2泊3日の旅
〜「この世界の片隅に」すずがいた場所〜
のん
写真／北浦敦子
B5判　定価：本体1,500円＋税

双葉社